

## 横山分署長、横倉警部補が 4月1日付で着任しました



消防飯館分署の横山分署長(左)と飯館駐在所の横倉警部補。お世話になります。よろしくお願ひします。

南相馬消防署飯館分署に4月1日付で横山義幸分署長が着任されました。「地域の安全・安心を目指し、消防行政サービスの向上、飯館村が益々明るく、楽しい、元気な地域となるよう職員一丸となり取り組んでまいります」とごあいさつをいただきました。

また飯館駐在所には、横倉浩二警部補が着任。「村民の皆さんはやさしくていい方ばかり。駐在所の協議会の方々もとても熱心だと感じました。犯罪のない安心・安全な地域づくり、交通事故防止に、皆さんと共に取り組んでいきたい」と話されていました。

## 脱炭素×復興まちづくり プラットフォームの設立総会

3月23日、大熊町の交流施設「linkる大熊」(リンクルおおくま)で、「脱炭素×復興まちづくり」プラットフォームの設立総会が行われました。この新たなネットワークは、被災12市町村の地方公共団体、関連団体、民間企業、研究機関などが連携し、脱炭素化を組み込みながら、復興・再生の“まちづくり”を推進していこうと、環境省が事務局となり立ち上げたものです。設立総会には飯館村をはじめ200以上の団体が参加し、長期的な連携の意義を共有し、意見交換などを行いました。



会場参加の他、オンラインでの参加もありました。特色ある地域循環共生圏の創造を目指します。

## 飯館村消防団春季検閲式 消防分署駐車場で開催



規律訓練を行い整列した団員の皆さん。杉岡村長、赤石澤団長らの検閲を受けました。

4月23日、南相馬消防署飯館分署の南側駐車場で『令和5年飯館村消防団春季検閲式』が行われました。式には消防団員81人、役場消防隊9人の計90人が参加しました。4月1日に入団した原田朋さん(深谷)も消防団員として式に臨みました。式では赤石澤傳団長(飯樋町)が「消防団には地域の安心・安全を確保する責務があります。新入団員が年々少なくなるなど取り巻く環境は厳しくありますが、引き続き関係機関と連携を図りながら、全力を挙げ火災防御に努めます」と述べ、団の士気を高めました。

## 役場庁舎入口のバリアフリー 工事が完了しました

3月下旬、村役場入口の工事が完了しました。この工事で、玄関ポーチの段差を解消し、続く駐車スペースに優先駐車場を設置しました。また、優先駐車場とポーチの間にアスファルト舗装の通路を設け、石畳の部分を通らなくとも、車椅子などでスムーズに移動ができるよう改善しました。優先駐車場は、歩行が困難な方々に優先的にご利用いただく駐車スペースで、乗り降りがしやすいよう両脇の幅も広く設定しています。この工事は議会の提案を受け、令和4年度の事業で実施しました。



車の乗り降りや歩行が困難な方に優先的にお使いいただける駐車スペースを入口近くに2台分設けました。

## 株式会社ハシドラッグと 生活環境向上に係る協定を締結



橋浦代表取締役社長(右)が「日用品や医薬品の他、村農産品の販売にも役立ちたい」と話しました。

村は、県北地方を中心にドラッグストアを展開する株式会社ハシドラッグ(福島市)と、『飯館村内の生活環境の向上に関する基本協定』を締結しました。今後はこの協定を元に協力体制を整え、協議を行いながら村内の生活環境の向上を目指すと共に、地元企業とも連携を深めて地域経済の振興にも取り組んでいきます。

協定の締結式は、4月24日に村役場で行われ、杉岡村長と同社の橋浦希一代表取締役社長が協定書に署名し、基本協定を締結しました。

## ろうそく作家の大槻美友さんが 地域おこし協力隊を卒業

上飯樋地区の古民家を改装したアトリエ『工房マートル』で活動するろうそく作家の大槻美友さん(草野)が、3月31日に飯館村地域おこし協力隊を卒業しました。卒業式は同28日に村役場で行われ、職員や協力隊の仲間が見守る中、杉岡村長が大槻さんに卒業証書を手渡しました。

大槻さんは「あっという間の3年間。村民の皆さん、役場職員の皆さんに温かく接していただき、本当にお世話になりました」と感謝を述べました。大槻さんはこれからも村内で活動を続けていきます。



3年間の任期中、幅広い活動で村に賑わいをもたらしていただきました。今後共々よろしくお願ひします。